

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	宗像看護専門学校
設置者名	学校法人水光学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
看護専門課程	看護学科	夜・通信	13 単位	9 単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

「実務経験のある教員等による授業科目の一覧表」を学校事務室で閲覧可能

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	宗像看護専門学校
設置者名	学校法人水光学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校事務室で閲覧可能

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	国立大学副学長 現国立大学名誉教授	令和1.6.18 令和3.6.17	学校経営全般 学生指導
非常勤	前社会福祉法人事務長	令和1.6.18 令和3.6.17	財務内容改善 労務関係
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	宗像看護専門学校
設置者名	学校法人水光学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>(1) 授業計画(シラバス)は、各学年の担当教員、教務主任及び副校長で、毎年見直しを行い最新の看護知識・技術を反映するように検討している。</p> <p>(2) 当該の授業計画は、毎年4月に全学生に配布している。</p> <p>(3) 実習に関しても、当該授業計画に含まれるが、別途実習の具体的な進め方等を記載した「実習ガイダンス」を作成し、1年次の4月に配布している。</p>	
授業計画書の公表方法	HP上で電話等により請求が可能な旨を表示 www.munakatakango.com/request
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>宗像看護専門学校学則(抜粋)</p> <p>(単位の授与)</p> <p>第10条 授業科目を履修し、その試験等に合格した者には、その授業科目の所定の単位を与える。</p> <p>2 単位認定については、別に定める。</p> <p>(成績の評価)</p> <p>第11条 成績の評価は、優・良・可・不可の4種とし、優・良・可を以て合格とする。</p> <p>(評価方法)</p> <p>第12条 評価の方法は、試験及び実習評価表により行われる。</p> <p>2 試験の種類は本試験、追試験、再試験とする。</p> <p>3 試験及び実習の評価に関する規程については、別に定める。</p>	

宗像看護専門学校評価規程（抜粋）

（評価方法）

第2条 評価の方法は、試験及び実習評価表により行われる。

- 2 試験の種類には、本試験、再試験、追試験がある。
- 3 試験の方法には、次のものがある。
 - 1) 筆記試験
 - 2) 実技試験
 - 3) レポート
 - 4) 口頭試問
- 4 試験の実施時期は、講義内及び講義終了後の定期試験期間のいずれかもしくは、その両方で行う。
- 5 実習における評価は、各専門看護学の実習評価表に基づき行う。
- 6 評価方法、評価時期及び評価基準については、シラバス・実習要領に明記する。

（評価の基準）

第12条 各授業科目の最終評価は、当該授業科目の構成単位毎に、優(80点以上)・良(79～70点)・可(69～60点)・不可(59点以下)に置き換えられる。

宗像看護専門学校単位取得及び卒業に関する規程（抜粋）

（単位認定基準）

第3条 履修科目の単位認定は、次の項目が満たされなければならない。

- 1) 成績評価は試験及び実習評価表で行い、60点(可)以上であること。
ただし、実技試験に限り、70点以上であること。
- 2) 各授業時間の一定の範囲を超える欠席がないこと。
 - (1) 講義においては、各授業時間の3分の1を超える欠課がないこと。
 - (2) 実習においては、当該単位認定実習の5分の1を超える欠課がないこと。
 - (3) 次の場合欠席扱いにしない。ただし、必要に応じ補講・追習実習を行うことがある。
 - ① 学校保健法に定めるところの出校停止
 - ② 忌引き
 - ③ 公共交通機関の遅延による場合
 - ④ その他本校において認めた場合
- 3) 学校納入金を納期までに納入した者。

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>(1) 履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均点を算出のうえ成績の順位付けを行う。</p> <p>(2) これにより、成績の下位4分の1に当たる者の特定が可能となる。</p> <p>(3) 本評価については、該当科目の点数及び全体の順位を、各学年前期と後期に保護者等へ送付している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>学生便覧及び実習ガイダンスを学校事務室で閲覧可能</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>宗像看護専門学校学則（抜粋） （卒業の認定）</p> <p>第13条 本校に3年以上在学し、第8条の授業科目を履修し、その単位を取得した者に対し、運営会議の議を経て、校長が卒業を認定する。</p> <p>2 校長は、卒業を認定した者に対し卒業証書及び専門士（医療専門課程）の称号を授与する。</p> <p>3 卒業認定については、別に定める。</p> <p>宗像看護専門学校単位取得及び卒業に関する規程（抜粋） （卒業の認定）</p> <p>第7条 卒業の要件は、次のとおりとする。</p> <p>(1) 卒業に必要な修得単位数は、学則第8条の別表に挙がる98単位とする。</p> <p>(2) 欠席日数が出席すべき日数の3分の1を超える者は、卒業することができない。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>学生便覧を学校事務室で閲覧可能</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	宗像看護専門学校
設置者名	学校法人水光学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	www.munakatakango.com/johokokai/
収支計算書又は損益計算書	www.munakatakango.com/johokokai/
財産目録	www.munakatakango.com/johokokai/
事業報告書	www.munakatakango.com/johokokai/
監事による監査報告（書）	www.munakatakango.com/johokokai/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		看護専門課程	看護学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	98 単位時間/単位	56/単位 単位時間	9/単位 単位時間	27/単位 単位時間	/単位 単位時間	6/単位 単位時間
			98 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240人		239人	0人	12人	85人	97人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

- (1) カリキュラムは、各学年の担当教員が素案を作り、教務主任の確認を経て、教務会議で決定する。毎年4月に「授業概要」として学生に配布する。
- (2) 実習に関する授業計画については、教務主任及び実習調整者が、協議のうえ作成し、「実習ガイダンス」として1年次の4月に配布している。
- (3) 「授業概要」及び「実習ガイダンス」は、学校事務室で閲覧可能である。

成績評価の基準・方法

（概要）

宗像看護専門学校学則（抜粋）

（成績の評価）

第11条 成績の評価は、優・良・可・不可の4種とし、優・良・可を以て合格とする。

（評価方法）

第12条 評価の方法は、試験及び実習評価表により行われる。

- 2 試験の種類は本試験、追試験、再試験とする。
- 3 試験及び実習の評価に関する規程については、別に定める。

宗像看護専門学校評価規程（抜粋）

（評価方法）

第2条 評価の方法は、試験及び実習評価表により行われる。

2 試験の種類には、本試験、再試験、追試験がある。

3 試験の方法には、次のものがある。

1) 筆記試験

2) 実技試験

3) レポート

4) 口頭試問

4 試験の実施時期は、講義内及び講義終了後の定期試験期間のいずれかもしくは、その両方で行う。

5 実習における評価は、各専門看護学の実習評価表に基づき行う。

6 評価方法、評価時期及び評価基準については、シラバス・実習要領に明記する。

（評価の基準）

第12条 各授業科目の最終評価は、当該授業科目の構成単位毎に、優(80点以上)・良(79～70点)・可(69～60点)・不可(59点以下)に置き換えられる。

卒業・進級の認定基準

（概要）

宗像看護専門学校学則（抜粋）

（卒業の認定）

第13条 本校に3年以上在学し、第8条の授業科目を履修し、その単位を取得した者に対し、運営会議の議を経て、校長が卒業を認定する。

2 校長は、卒業を認定した者に対し卒業証書及び専門士（医療専門課程）の称号を授与する。

3 卒業認定については、別に定める。

宗像看護専門学校単位取得及び卒業に関する規程（抜粋）

（卒業の認定）

第7条 卒業の要件は、次のとおりとする。

(1) 卒業に必要な修得単位数は、学則第8条の別表に挙がる98単位とする。

(2) 欠席日数が出席すべき日数の3分の1を超える者は、卒業することができない。

学修支援等

（概要）

(1) 通常の学習支援

各学年毎にグループを作り、実習指導を中心に学年担当教師が個別に指導。

(2) 就職支援

・外部業者により、面接及び履歴書記入方等についての講義を実施。

・外部の講師により、個別の模擬面接を全員に実施。

(3) 国家試験対策

3年生の実習終了後から、成績順にグループ分け、特に下位グループを徹底的に指導。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
77人 (100%)	1人 (1.3%)	73人 (94.8%)	3人 (3.9%)
(主な就職、業界等) 宗像水光会総合病院、福岡病院、白十字病院、東京女子医科大学病院ほか			
(就職指導内容) ・就職ガイダンス ・面接及び履歴書講座（外部講師） ・個人別模擬面接（外部講師）			
(主な学修成果（資格・検定等）) 看護師免許取得			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
245人	10人	4.1%
(中途退学の主な理由) 進路変更、成績不振、経済的困窮		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個人面接、臨床心理士によるカウンセリング		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
看護学科	300,000 円	636,000 円	320,000 円	320,000 円は施設維持費(1年次のみ)
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 自己点検自己評価報告書として、学校事務室で閲覧可能。		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
(1) 自己点検自己評価 評価項目 I－学校経営 II－教育課程・教育活動 III－入学・卒業対策 IV－学生生活への支援 V－管理運営・財政 VI－施設整備 VII－教職員の育成 VIII－広報 IX－地域との連携		
(2) 評価委員会の構成 定員2名で、実務経験者または教育関係者から選出。		
(3) 評価結果の活用方法 ・自己点検自己評価結果を基に、評価委員が評価及び改善すべき点を指摘。 ・当該指摘に対し、6月以降の教職員会議で協議し、改善すべき点については、副校長の責任の下、改善のための施策を講じる。 ・改善できた点については、評価委員に報告し、翌年の学校関係者評価に反映させる。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
私立大学非常勤講師	R2年4月1日 ～R4年3月31日	教育関係者 (実務経験あり)
専門学校非常勤講師	R2年4月1日 ～R4年3月31日	教育関係者 (実務経験あり)
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校関係者評価結果は「自己評価に対する評価について」という文書に記載されており、自己点検自己評価結果ともに、学校事務室で閲覧可能。		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 自己点検・自己評価報告書 学校関係者評価報告書 学校事務室で閲覧または入手可能
